

オプション検査項目

検査項目		検査料金 (税込)
腫瘍マーカー		
身体の様々な癌の可能性を調べる検査です。 PSA (前立腺) GEA (消化器系・肺) AFP (肝臓) CA19-9 (膵臓) PIVKA-II (肝臓) CYFRA (肺) SCC (肺・食道・子宮) ProGRP (肺) CA125 (卵巣)	男性セット1 (CEA、CA19-9、PSA、AFP)	¥6,000
	男性セット2 (男性セット1+SCC)	¥7,000
	女性セット1 (CEA、CA19-9、CA125、SCC)	¥6,000
	女性セット2 (女性セット1+AFP)	¥7,000
	肺がんセット (CEA、SCC、CYFRA、ProGRP)	¥6,000
	肝がんセット (AFP、PIVKA-II)	¥4,000
	単独検査	各¥2,000
呼吸器系検査		
マルチスライスCT装置を用いることで、胸部X線では見落とされていた小さな病変も発見し、肺癌の早期発見が可能です。さらに、肺がんリスクの高い喫煙者には喀痰細胞診検査を実施することが推奨されています。 また、『たばこ病』とも呼ばれているCOPDの早期発見には肺機能検査をお勧めします。	肺マルチスライスCT	¥10,000
	喀痰細胞診検査	¥3,000
	肺機能検査	¥3,000
	肺がん検診セット (マルチスライスCT、喀痰細胞診、肺機能検査、 腫瘍マーカー(肺がんセット4項目))	¥18,000
消化器系検査		
胃がんのリスク健診としてペプシノーゲン検査やピロリ菌検査を行います。ペプシノーゲン検査は胃粘膜の炎症・萎縮の状態を反映し、ピロリ菌検査は胃粘膜の持続的な炎症を引き起こすピロリ菌感染の有無を確認します。両者を組み合わせる事により、胃がんのリスクをより詳細に評価できます。	ABC健診 (ヘリコバクター・ピロリ抗体+ペプシノーゲン検査)	¥5,000
	ヘリコバクター・ピロリ抗体検査	¥2,000
動脈硬化検査		
食生活の欧米化、運動不足、高齢化などにより動脈硬化は増加しています。症状が現れにくいと、知らず知らずのうちに心筋梗塞、脳梗塞の危険にさらされます。予防の面からも動脈硬化の程度を知ることは大切なことです。	血管年齢検査 (CAVI)	¥1,500
	頸動脈超音波検査	¥3,000
メタボ検査		
CT (コンピュータ断層撮影) 装置で腹部の断面像を撮影します。皮下脂肪と内臓脂肪の量(面積)をそれぞれ正確に計算できます。リスクが高いとされる内臓肥満型のいわゆる「隠れ肥満」かどうか診断できます。	内臓脂肪検査 (CT)	¥3,000
骨密度検査		
女性の場合、50歳を過ぎ、閉経を迎えると、女性ホルモンの分泌が急激に低下するため、それに伴って骨量が急激に減少し、骨粗しょう症になりやすくなります。50歳を過ぎたら女性は定期的に骨密度測定をおすすめします。	骨密度測定	¥1,000
上腹部検査		
上腹部臓器 (胆嚢・肝臓・膵臓・腎臓・脾臓) を超音波やCTによる断層撮影で診断します。	上腹部超音波検査	¥5,000
	腹部CT検査	¥12,000
心機能検査		
心臓超音波検査では、心臓の大きさ、動き、心臓の筋肉や弁の状態、血液の流れなどを観察し、正常に働いているかどうかを調べます。 BNP検査は心臓への負担の程度を知ることが出来る検査で、心電図などと組み合わせる事で心不全の早期発見に役立ちます。	心臓超音波検査	¥8,000
	BNP検査	¥2,000

